

# 平成22年 みかん栽培暦

J A 紀 南  
西牟婁振興局農業振興課監修  
平成21年12月作成

★土壌診断を行い、適正施肥に努めよう！

果樹中核の相談は日本中毒情報センター(大阪)TEL072-727-2499(24時間待機)

肥 培 管 理			月	防 除				重点 作 業			
				病害虫名	薬 剤 名	倍数	使用基準 収獲前日数 使用回数				
<b>土づくり (1月~3月)</b> 畝率設計 パーク堆肥 2~4t 苦土石灰 100kg BMよりりん 60kg F T E 6kg  有機質: コールド有機 200kg ハイフミン特A 200kg 炭 植: アツミン 140kg リン酸: リンスター 60kg 石 灰: セルカ120kg、又は苦土セルカ2号120kg  施肥基準(樹勢・産果量により加減する)			3	上	ミカンハダニ	アタックオイル	80倍	3月	-	1	密植園の間伐 圃地改造①圃内灌漑道づくり ②腐熟化、溝掘り
			4	上 中	そ う か 病	トップジンM(水) 又は テランフロアブル	1000倍 1000倍	前日まで 30日前まで	5回以内 3回以内	2 3	春草除草で開花促進 春肥吸収促進
			5		(満開~落弁期) 黒 点 病 灰色かび病 そ う か 病 アカイムシ・ガクハヒ	ベンコゼブ(水) ストロビドフロアブル モスピラン(液)	600倍 2000倍 2000倍	30日前まで 14日前まで 14日前まで	4回以内 3回以内 3回以内	4	品種更新(高接更新、若返り改接)  ミツバチに影響する薬剤の使用は ひかえる  [産期適果] 生理落果最盛期(満開10~20日後) フィガロン乳剤1000倍1回のみ 摘果したい部分に散布
				中 下	カイガラムシ類 幼虫	アブロードフロアブル	1000倍	14日前まで	3回以内	6	タム水消液 1000倍 満開20~40日後 間引き摘果 1回以内  ナメクジ対策 ラービンベイト2 4kg/10a
春肥(3月上旬) 完熟みかん配合 80kg 又は 紀南粒状有機配合 60kg 完熟みかん配合 100kg			6	上 中 下	ミカンハダニ 黒 点 病 チャノキアザミウマ (ゴマダラカミキリ成虫)  黒 点 病 ミカンサビダニ (チャノキアザミウマ)	アタックオイル エムダイファー(水) アクタラ顆粒(液)  エムダイファー(水) ハチハチフロアブル (目に刺激あり、注意)	200倍 600倍 2000倍 (4000倍)  600倍 3000倍 (2000倍)	6~10月 60日前まで 14日前まで  60日前まで 前日まで	- 2回以内 3回以内  2回以内 2回以内		産 生 粗 摘 果: 6/中~6/下まで 仕上げ摘果: 7/中~8/上まで 樹上選別摘果: 9/上~9/中まで  早生・木熟みかん 上部全摘果: 6~7/上まで 樹上選別摘果: 9/下~10/上まで
夏肥 (5月下旬) 千代田化成549 40kg			7	上 中	ツノロウムシ(幼虫) カイガラムシ類 チャノキアザミウマ ゴマダラカミキリ成虫  黒 点 病	スプラサイド(乳)40    ベンコゼブ(水)	1500倍    600倍	14日前まで    30日前まで	4回以内    4回以内	7 8	フィガロン(乳)による鳥類保護(黒色・青色の向上) フィガロン(乳)3000倍300g/10a 1回目: 7/上 2回目: 7/下 (使用回数はのべ4回以内)  [透湿性マルチ被覆] 樹早生 6/下~7/中 早生 7/上~8/上  [灌水] (7/下~8/下) 干ばつ時は10~20mm程度の灌水 [着色感病対策] アリエッティ(水) 400倍 前日まで 3回以内 又は ストロビドフロアブル 2000倍 14日前まで 3回以内  [浮皮対策1] 8/下~10/中 セルバイン300倍を2~3回散布 (生理落果終了から着色期まで)
秋肥(9月~10月上旬) (10月上旬~10月中旬) (10月下旬) (11月上旬)  完熟みかん配合 240kg 又は 紀南粒状有機配合 200kg (アツミン60kgと併用)  完熟みかん配合 240kg (アツミン60kgと併用) マルチ層で施肥が望まれる場合 マルチ層を、千代田化成549 80kgを併用する			8	上 中 下	チャノキアザミウマ 黒 点 病  ミカンハダニ ミカンサビダニ	コテツフロアブル ベンコゼブ(水)  ダニエモンフロアブル	4000倍 600倍  4000倍	前日まで 30日前まで  7日前まで	2回以内 4回以内  1回		[浮皮・着色対策2] 着色初期~着色2・3分時 フィガロン(乳)3000倍を収穫2週間 前までに2回散布 (使用回数はのべ4回以内) 又は クレフノン100倍を収穫2週間前 までに、「浮皮の軽減」「果皮水分 の減少促進」にそれぞれ1回散布 (生育期により、果実によれを生じるので注意)
取 穫 後 [樹勢回復対策] 葉面散布(尿素又は、あざやか500倍)7~10日間隔で3回			9	上 中	ミカンサビダニ 母かび病・緑かび病	サンマイト(水) ベフラン(液)25	3000倍 2000倍	3日前まで 前日まで	2回以内 3回以内		ベフラン液剤と石灰硫黄合剤を混 用する場合は、先にベフラン液剤 を溶かし、必ずかくはん機を使用 する
未 結 果 3 月 6 月 6月~7月 紀南グッド配合 40kg 紀南グッド配合 60kg ミカンモリガ・アブラムシ類 9 月 10月下旬~11月上旬 モスピラン(液)4000倍 紀南グッド配合 40kg 紀南グッド配合 40kg (収獲14日前まで3回以内)			10	上 中	母かび病・緑かび病 ミカンハダニ	オ マ イ ト(水) 又は マイトコーネフロアブル	750倍 1000倍	7日前まで 7日前まで	2回以内 1回	10	
完熟みかん配合 (6-7-4) 有機率 88.5% 紀南粒状有機配合 (8-6-4) 54.0% 紀南グッド配合 (8-5-4) 56.0% 千代田化成549 (15-14-9) ※リン酸過剰時には 硫酸かしりオール補給 (7-2-4) 100.0%			11	上	母かび病・緑かび病	トップジンM(水)	2000倍	前日まで	5回以内		
			12		ヤノネカイガラムシ ハダニ類 (越冬卵)	有機油乳剤95	45倍	冬期	-		

★マルチ被覆を面積の50%以上にしよう！

★腐敗対策を徹底しよう！

カメムシ捕虫灯を設置しよう！

- 防除の注意点
- 隣接園、早期収穫品種への飛散に注意
  - ドリフト対策として、防風垣・防風ネットの整備を行う
  - 防除器具の洗浄を行う
  - 生産履歴の記録は収穫後より始まります

## 雑草防除

薬 剤 名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量 (粉砕水量)	使用回数
ラウンドアップアクソード	1年生雑草	収穫7日前まで 雑草生育期	200~500mg (50~100g)	3回以内
	多年生雑草		500~1000mg (50~100g)	
	スキナ		1500~2000mg (25~50g)	
タッチダウンIQ	1年生雑草	収穫5日前まで 雑草生育期(草丈30cm以下)	250~500mg (10~100g)	3回以内
	多年生雑草		500~1000mg (10~100g)	
	スキナ		1500~2000mg (25~50g)	
バスタ液剤	1年生雑草	収穫21日前まで 雑草生育期(草丈30cm以下)	300~500mg (100~150g)	3回以内
	多年生雑草		500~1000mg (100~150g)	